

令和8年3月吉日

(一社) 日本植木協会

会長 生駒 順

(公印省略)

東京農業大学総合研究所

みどりの環境創造研究部会

部会長 中村 幸人

(公印省略)



「令和8年度 植生アドバイザー育成講座」の募集について

この講座は、「人と自然の共生」の価値観を共有した「みどりの環境創造」を実践できる人材の育成を目的として、日本植木協会と東京農業大学総合研究所の共催により、平成15年(2003年)から毎年開催しています。

みどりの環境を理解し、それを役立てたいと願う私たちが、身近な森林などの成り立ちに興味を持ち、理解を深めることは、環境の保全やみどりの復元などのスキルを身に付けるのに役立ちます。

私たちの生活する空間に潤いと清浄な空気・水を提供し、立地保全機能を備えたみどり豊かな環境を確保するためには、公園、病院、工場、学校、道路、住宅地などの諸施設の周りに植物を植栽し育成していく緑化活動が不可欠です。そのためには身近な植物の集団であるみどり、すなわち植生について、その種類や成り立ち、機能等を理解し、立地環境に応じた植栽適性種やそれらの植栽・育成方法を知らなければなりません。本講座は、そのような植生復元・植生管理に必要な植物及び植生についての基礎知識や調べ方を身に付け、適切な樹種選定や緑化手法を計画・立案する能力の養成を目的としています。

講座は3カ年の3コースで構成されています。1年目は「A 日本の植生基礎コース」、2年目は「B 植生景観基礎コース」、3年目は「C 植生復元・モニタリングコース」を順に受講していただきます。この3年間で、植生学の基礎、植生調査方法、データの分析と植栽計画の立案、植栽とモニタリングまでを体系的に修得できるカリキュラムが組まれています。

本講座は、その優れた内容が評価され、環境省と農水省共管の「人材認定等事業」の育成事業として登録されています。登録内容は環境省ホームページ:https://www.env.go.jp/policy/post_100.html をご参照ください。なお、本年度は2泊3日の実地研修と、その前後にビデオ講座等を受講する併用方式を採用しております。

植生アドバイザー育成講座

1. 実地研修日時：令和8年8月27日(木)～8月29日(土) (2泊3日)

2. 内容

「A 日本の植生基礎コース」：植生とその生態、日本の多様な植生、植生調査の方法、野外実習、データ整理と解析

「B 植生景観基礎コース」：里山という植生景観、植生景観の調査方法、野外実習、データ整理と解析、景観区分図の作成と修復計画

「C 植生復元・モニタリングコース」：生態学的植生復元とは、植栽計画及び施工の野外実習、景観修復に基づいた植栽計画

3. ビデオ講義：上記コースで従来座学としていた講義を実施研修前後にビデオ講義で行います

事前講義：7月25日よりA・B・C各コース別にYouTubeで学習します

事後講義：実地研修後のA・B・C各コース別まとめを9月初旬にオンラインで学習します

4. 講師：中村幸人(東京農大)、鈴木伸一(IGES 国際生態学センター)、小室武利(パースデザイン)、西野文貴(グリーンエルム)

5. 受講料

一般68,000円(税込、うち消費税10% 6,181円含む)

※7月17日迄の早期お申込みは64,500円(税込、うち消費税10% 5,863円含む)となります。

協会員62,000円(税込、うち消費税10% 5,636円含む)。

* 上記金額には、上毛高原駅までの交通費は含んでおりません。

* 講義テキスト「植生景観とその管理」をご用意いたします。

* 造園CPD、樹木医CPDに登録申請いたします。建設系CPDは受講証明書を発行いたします。

* 本講座のA・B・Cの3コースをすべて修了された方は、植生管理士資格の取得に際して必要となる植生調査の実施試験が免除され、筆記試験のみで受験することが可能となります。

令和8年度 植生アドバイザー育成講座申込書

1. 日 時 令和8年8月27日(木)～8月29日(土)
 2. 開催場所 ふじやまビレジ 〒378-0101 群馬県利根郡川場村大字谷地 1320 TEL0278-52-3321
 3. 集合日時 8月27日(木) 12:00
 4. 集合場所 1) 電車利用 上越新幹線・上毛高原駅改札 11:30 (送迎あり)
アクセス: 上越新幹線とき 315号(東京10:15→上毛高原11:18)
2) 車利用 ふじやまビレジ フロント 12:00
 5. 解散日時 8月29日(土) 14:00
 6. 解散場所 ふじやまビレジ (上毛高原駅まで送迎あり)
アクセス: 上越新幹線とき 324号(上毛高原15:25→東京16:28)
 7. 募集人員 各コース20名
 8. 締 切 7月31日(金)
- ※ 講義テキスト 「植生景観とその管理」農業大学出版会発行 定価2,500円(税別)を
2,000円(税込)送料300円(税込)にて斡旋いたします。ご希望の方は申込書に記入願います。
- ※ 個人装備等につきましては参加の方に後日改めてご案内します。

受講申込票 FAX: 03-3586-7577

締切 7月31日(金)

「植生アドバイザー育成講座」に受講申し込みいたします。

年 月 日

ふりがな 氏 名	性 別 男性 ・ 女性
	生年月日 (昭・平 ・)
自宅 〒 住所	所 属 (勤務先) (学校名)
電話 (自宅) 番号 (勤務先) (携帯)	FAX (自宅) 番号 (勤務先)
E-mail	※該当の方は○を、()に登録番号ご記入下さい CPD 会員 造園 CPD ・ 樹木医 CPD ・ 建設系 CPD () () ()
コース (いずれかに○を付けて下さい) A ・ B ・ C	講義テキスト希望 希望する ・ 不 要
※会場(ふじやまビレジ)へのアクセス方法 (該当に○を付けて下さい) 新幹線(上毛高原駅→送迎バス) ・ 車(ふじやまビレジ集合)	

【お問合せ】 (一社) 日本植木協会 〒107-0052 東京都港区赤坂6丁目4番22号 三沖ビル3階
TEL: 03-3586-7361 FAX: 03-3586-7577
E-mail: shokusei@ueki.or.jp URLhttp://www.ueki.or.jp

【講師紹介】(担当コース順)

Aコース担当

鈴木 伸一(すずき しんいち)



(公財)IGES 国際生態学センター長(学術博士)。東京農業大学客員教授。宮脇昭教授に師事。高等学校教諭、国際生態学センター主任研究員、東京農業大学短大/地域環境科学部地域創成科学科教授を経て現職。経産省環境審査顧問、環境省植生図凡例検討委員、群馬県尾瀬保護専門委員。専門分野は植物社会学。主な著書は『日本植生誌第 3~10 巻』(分担執筆)、『環境緑地学入門』(編著)、『植生景観とその管理』(分担執筆)、『環境を守る森をしらべる』(共著)の他、植物相・植生分野の論文、報告書多数。ポット幼苗の密植による宮脇方式の環境保全林の育成にも従事。

Bコース担当

中村 幸人(なかむら ゆきと)



東京農業大学名誉教授(理学博士)。横浜国立大学助手、作新学院大学教授、東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科教授。国際植生学会(IAVS)評議員、命名規約委員会委員、Phytosoenologia 編集委員、神奈川県公共事業評価審査会委員、同県鳥獣総合対策協議会委員。専門分野は植生学、景観生態学。主な著書は「日本植生誌全 10 巻」(分担執筆)、「みどりの環境デザイン」(編著)、「植生景観とその管理」(執筆、監修)、「植生から見る里山」、「高山植物学」(分担執筆)、「Ecosystems of the World 6」(分担執筆)など。世界各地の植生調査を行ない、日本の植生との比較研究や植物社会学の研究で多くの業績を残している。

Cコース担当

小室 武利(こむろ たけとし)



(有)バーズデザイン代表。
(特非)みどりのお医者さん理事、(一社)緑の音研究所理事。樹木医。南九州大学園芸学部造園学科卒業。横浜国立大学環境科学研究センター植生学研究室に従事。専門分野は環境保全林計画、造園設計、樹木保全。

Cコース担当

西野 文貴(にし の ふみたか)



(株)グリーンエルム代表取締役社長。東京農業大学客員研究員。林学博士。東京農業大学では中村幸人先生に師事し、生涯をかけて森づくりに邁進中。父親が植物社会学による植生復元を根底に置いた苗木生産会社を設立し 2023 年 10 月に承継。(公財)鎮守の森のプロジェクト技術部会部会員。日本緑化工学会よりシダ植物の増殖技術に関する研究等から研究奨励賞を授与。神社本庁を始めとした様々な講演、自然観察会を実施。経済と生態系の循環を目指す「里山 ZERO BASE」を展開中。